

大木町全世代型健康増進拠点施設整備
基本設計に関する住民説明会（第2回）

大木町全世代型健康増進拠点の構築について



令和8年6月 大木町役場健康課

1 あいさつ

2 説明

- (1) アクアスについてー町として、今お伝えしたいことー（広報5月号掲載記事）
- (2) 前回の住民説明会における質問、意見・要望の整理と対応について
- (3) 未来推進会議について

3 質疑・意見・提案について

● アクアスについて一町として、今お伝えしたいことー（広報5月号掲載記事から）

▼ アクアスの在り方の検討の背景

- ・ 施設や設備の老朽化による施設の機能や安全性の低下
- ・ 修繕、改修費用の増加や経営状況の悪化などによる財政負担の増加
- ・ 医療費の増加や平均寿命と健康寿命の差の拡大による町民の健康づくりの重要性の高まり

▼ 議会や監査からの指摘もあり、今後の在り方を検討に着手（令和5年度～）

▼ 検討の結果（答申・報告）

【令和5年度（健康福祉センターの在り方に関する検討委員会答申）】

- ・ すべての町民の健康を支える拠点として「全世代型健康増進拠点」への転換

【令和6年度（全世代型健康増進拠点在り方検討委員会報告）】

- ・ 健康福祉棟を拠点施設とし必要な改修を実施
- ・ 多世代交流棟（アクアス）は機能を閉鎖し、温泉を活用した小規模温浴施設（附帯施設）を設置

▼ 答申・報告を尊重することとした判断の視点

視点①「価値」
・町民の健康維持
・温泉資源
・利用者の思い、愛着

視点②「継続」
・老朽化対策
・経営状況の改善
・民営化の可否

**健康福祉センターの在り方に関する
答申・報告**

視点③「社会状況」
・人口減少
・少子高齢化
・経済状況（物価高騰）

視点④「町の持続性」
・財政の縮小（歳入減少）
・福祉、防災分野等の拡大
・公共施設の老朽化対策



現状のまま維持することは
町全体の持続可能性に影響
を与える可能性があると判
断し、答申・報告内容を町
の方針として決定

方針を具体化し、進めてい
くため2つの計画を策定

- ・全世代型健康増進計画
- ・全世代型健康増進拠点
構築計画

▼ 全世代型健康増進拠点について

- ・ 子どもから高齢者まで世代を問わず利用できる健康づくりの場を整え、日常的に運動や健康管理に取り組める環境を整備します。
- ・ 体力測定による健康状態の見える化や、一人ひとりに応じた運動プログラム、健康相談、生活習慣の改善支援などを通じて、継続的な健康づくりを支えていきます。

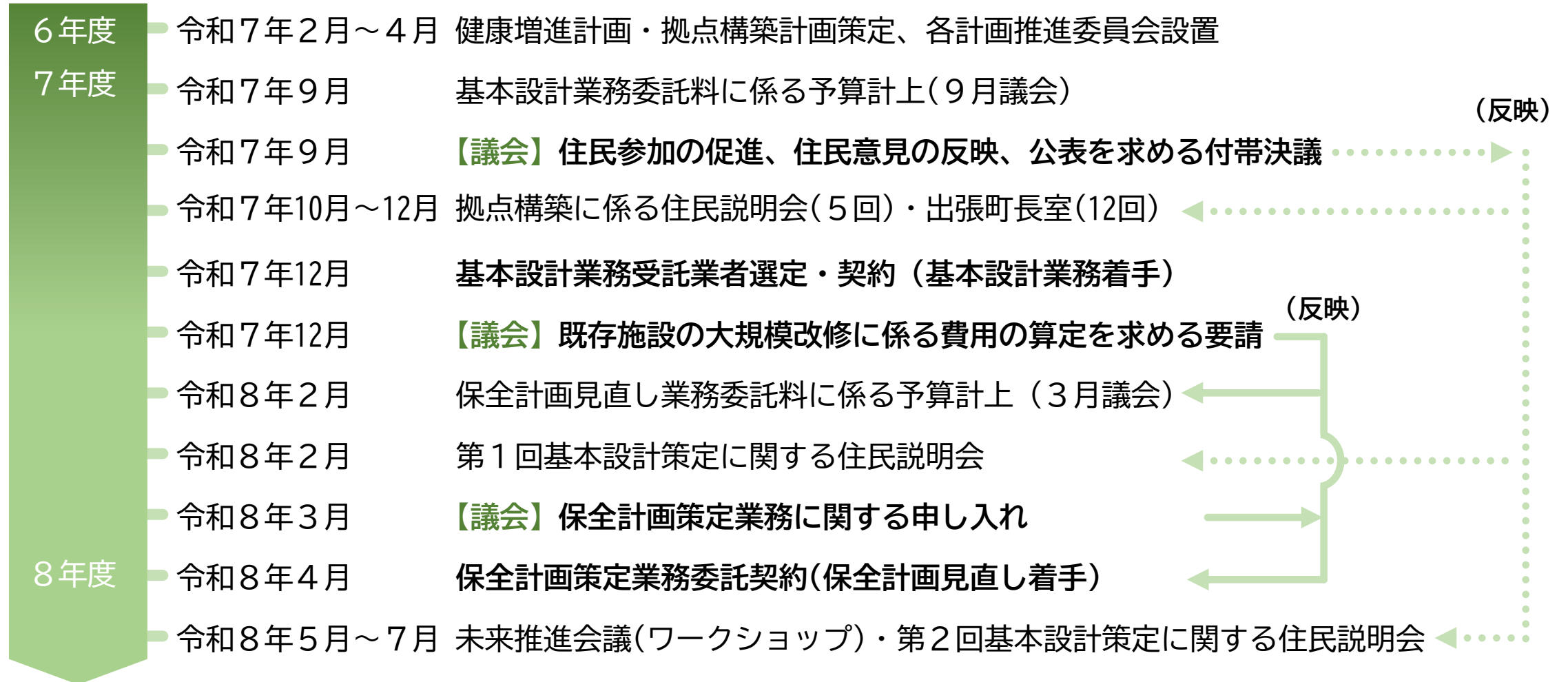
▼ 温泉資源について

- ・ 完全に廃止するのではなく、小規模で持続可能な形での活用を検討しています。
- ・ 過度な負担とならない運営方法を前提に、地域資源としての価値を生かしたあり方を検討していきます。

令和8年度は、住民説明会やワークショップ形式での意見交換を重ねながら、整備内容を具体化する基本設計を策定します。そのうえで、議会での議論を経て今後の方向性を決定していきます。

健康福祉センターを全世代型健康増進拠点として活用し、必要な施設整備を行うという方針定した判断は、過去を否定するものではありません。町としての経験を、今後のまちづくりに生かしていくための「学び」として位置づけています。

▼ 拠点構築に向けた進捗状況（方針決定後から現在まで）



(1) アクアスについてー町として、今お伝えしたいことー

▼ 拠点構築に係る附帯施設整備について

令和6年度（全世代型健康増進拠点あり方検討委員会）

・附帯施設の位置について、「現在のアクアスの位置(1案)」、「アクアス西側町有地(案2)」を提案

令和7年度～8年度（基本設計において各案を検討）

検討項目	1案	2案	3案（現状施設の継続利用）
建築	利用導線・施設間の一体性・維持管理性		—
構造	地盤条件・基礎条件		—
設備	設備効率・メンテナンス性・配管ルート		地下設備の地上への移設
施工	施工性・工期・工事費		大規模改修に係る工期・工事費
その他	現施設の利用期間・運営・維持管理費		工事期間中の利用・運営・維持管理費

議会からの要請による検討案

人口減少・少子高齢化の進展、将来のまちづくりビジョン、健康づくり施策



中長期財政の見通し、財政投資の在り方、公共施設老朽化対策

総合的に比較検討し、令和8年12月頃に整備案を決定（実施設計へ）

● 基本設計に関する住民説明会（第1回）開催結果概要

▼ 開催日時：令和8年2月21日（土）

第1部 14時～

第2部 19時～

▼ 参加者数：延べ32名

第1部 19名

第2部 13名

▼ 意見総数：58件（質問・要望を含む）

(2) 前回の住民説明会における質問、意見・要望の整理と対応について

● 意見・質問・要望の整理について【意見・質問・要望の分類】

分類項目	件数	
	質問	意見
① 健康福祉センターの現状について	1件	1件
② 住民説明会について	-	2件
③ 全世代型健康増進拠点の構築について	11件	9件
④ 全世代型健康増進拠点の運営について	4件	5件
⑤ 全世代型健康増進拠点施設整備基本設計について	7件	9件
⑥ 全世代型健康増進拠点施設整備基本設計の工程について	3件	-
⑦ 未来推進会議（ワークショップ）について	1件	3件
⑧ その他	1件	1件
合計（58件）	28件	30件

説明項目

説明項目

● ③ 全世代型健康増進拠点の構築について

▼ 町外者の利用について

- ・ 町外者の利用も大きな収入となる。町外者の利用についても大切にしてもらいたい。
- ・ 人が集まるような施設を作ってもらいたい。多くの人がいないと経営が成り立たないのでは。

【回答・対応】

全世代型健康増進拠点は、「町民を対象とした健康増進サービスを提供する拠点」として位置付け、公共施設として財源の範囲の中で運営をしていくとしています。

ただし、町外の方の利用を制限するものではありません。

● ③ 全世代型健康増進拠点の構築について

▼ 施設のコストについて

- ・ 新たな施設のイニシャルコスト及びランニングコスト、既存施設の改修費が分かれば住民も判断しやすいのではないか。
- ・ 改修費18億4,000万円の内訳を書いてもらおうと、中身がよく分かると思う

【回答・対応】

基本設計において、整備内容や概算事業費を明らかにし、イニシャルコスト、ランニングコストを算定します。

なお、議会からの要請により、既存施設を維持する場合に必要な改修費についても再算定することとしており、拠点整備と既存施設を使い続ける場合の費用比較を行い、その結果を公表することとしています。

→ 現在平成30年に策定した保全計画の見直すことで施設維持に係る改修費（当時の保全計画では18億4千万円）を再算定する業務に着手しています。

● ③ 全世代型健康増進拠点の構築について

▼ 附帯施設の必要性について

- ・ 附帯施設の温浴施設はいらない。財政的にも無理して作る必要はない。健康福祉棟の充実を図るだけで十分ではないか。

【回答・対応】

貴重なご意見として受け止めます。

町としましては、貴重な地域資源である温泉をどのように活用するのか検討し、持続可能な形で活用できるよう拠点の附帯施設として小規模温浴施設を設置する方針としています。

今後、ワークショップや皆様との意見交換の中で、さらに具体的な形にしていきたいと考えています。

● ③ 全世代型健康増進拠点の構築について

▼ 建替え・改修の判断について

- ・ 町長が施設を建替えるのか改修するのか判断する際は、生の声を町民に発信していただきたい。
- ・ 議会からの要請のとおり施設を使い続けるのか、又は新たに建てるのか広く議論したうえで判断してもらいたい。

【回答・対応】

これまでの検討の結果、町の方針は全世代型健康増進拠点を構築するため施設整備を行うこととしていますが、最終的には、施設整備に係る費用や運営経費、既存施設を継続利用するために必要な改修費などを比較しながら総合的に決定します。

なお、決定した際はその判断に至った考えや要因などを示しながら、議会や町民のみなさんに説明したいと考えています。

● 未来推進会議（ワークショップ）について

▼ 主な意見

- ・ 今後のワークショップでは、前向きな議論を進めるように誘導してもらいたい。
- ・ ワorkshopを通じて、一人ひとりの意見をすくい上げていただきたい。
- ・ 未来推進会議には建設課が関わる必要があるのではないか。

【回答・対応】

未来推進会議は、多様な人たち（校区づくり活性化協議会、施設利用団体、検討委員会委員、健康づくりの専門家、中学生棟）を招き入れ、様々な角度から、世代を超えた多世代型の議論を進め、その意見を基本設計に反映しています。

会議はワークショップ形式で開催しており、参加者が主体的に参加し、意見を出し合いながらまとめていく形で進めています。（※現在まで2回開催）

● 未来推進会議開催状況

第1回（4月25日）

テーマ：健康づくりの居場所について考えよう
※必要な機能についての意見交換

第2回（5月30日）

テーマ：健康づくりの居場所を具体化しよう
※機能の優先度についての意見交換

第3回（7月25日） 予定

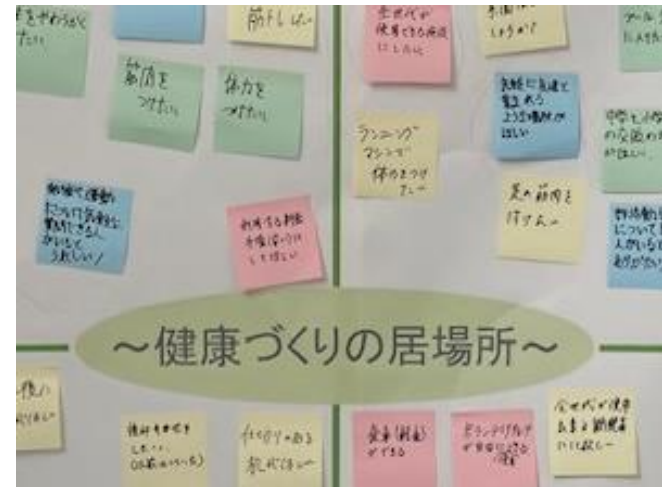
テーマ：具体案からより良い案を見つけよう
※これまでの意見を踏まえた施設案の検討

未来推進会議参加者構成

- ・各校区づくり協議会 （7名）
 - ・拠点在り方検討委員会 （3名）
 - ・NPO法人大木町スポーツ協会
 - ・大木町食生活改善推進会
 - ・大木町医会
 - ・大木町健康づくり公社運動部門
 - ・大木中学校1～3年生 （7名）
 - ・大木町役場（新規採用職員4名）
- 合計25名

(3) 未来推進会議について

● 第1回ワークショップの様子



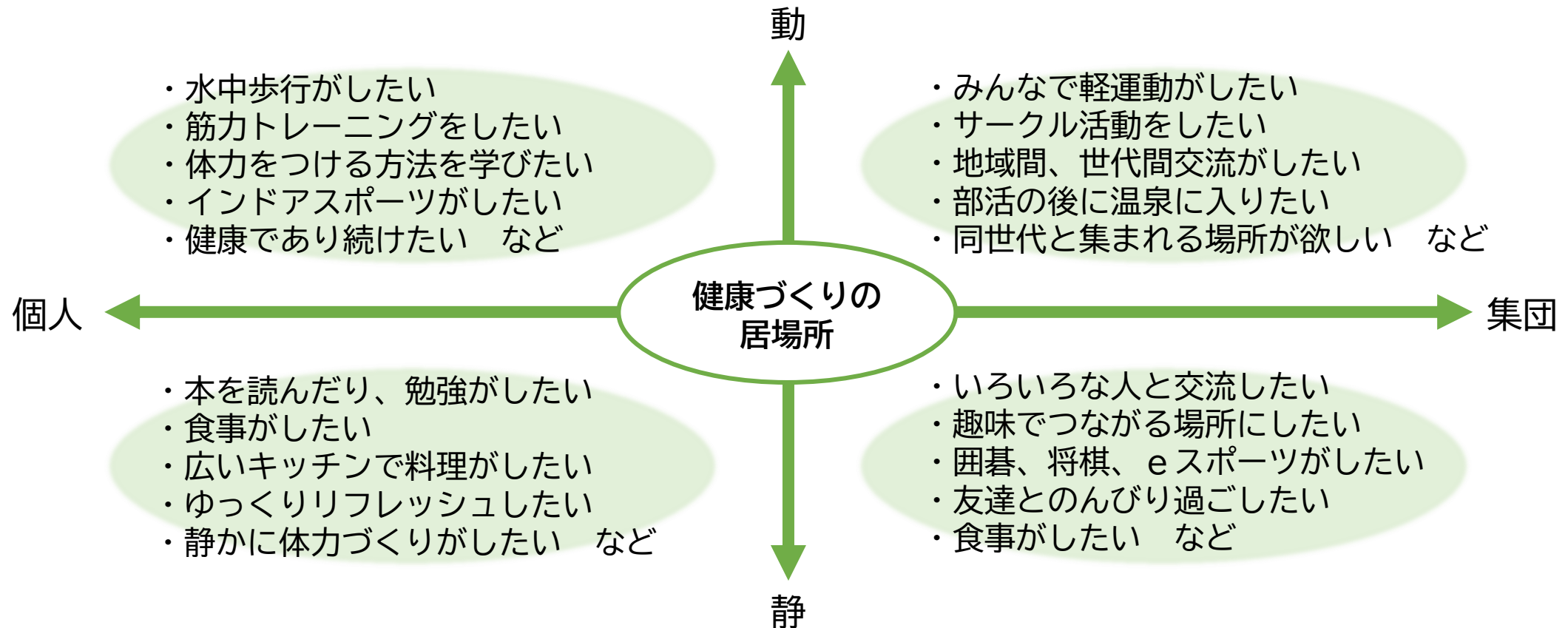
(3) 未来推進会議について

● 第2回ワークショップの様子



● 第1回ワークショップの意見整理

施設に求める機能として、拠点施設で行いたいことを意見として出し、「動」と「静」、「集団」と「個人」に分類し整理



(3) 未来推進会議について

● 第1回ワークショップでの意見を踏まえた機能・用途の整理

拠点機能	必要な施設・設備	活用方法等	
運動	温泉・プール、室内運動場、外部運動場（ランニングコース、遊び場など）、シャワールーム	体力づくり、健康維持	運動 温浴 機能
温泉・健康	温泉、足湯、サウナ、休憩スペース、保健室	健康維持、憩い、癒し	
交流	多目的室、休憩スペース（+自販機スペース）、カフェ、コミュニケーションルーム、教室	映画観賞会、各種講習	交流 学び 機能
食育	栄養指導室、カフェ、レストラン、喫茶コーナー、屋外調理場（中庭）、学習スペース、菜園、wifi	食育講習、こども食堂、デイキャンプ、野菜作り	
学び	自習室（wifi整備）、個別ブース、会議室、講義室、情報コーナー	学習、勉強会、病気予防講習、健康関係情報発信	
ボランティア その他	音楽室（防音室）、多目的スペース、ボランティア室、物産コーナー、コミュニティバス、バリアフリー化	こども食堂、講習会	

● 第2回ワークショップ

▼ ワークショップテーマ「健康づくりの居場所を具体化しよう」

健康機能

運動機能

温浴機能

【運動機能】

トレーニングジム・アリーナ等

【温浴機能】

浴室・サウナ・シャワーブース・歩行浴等



居場所機能

交流機能

学び機能

【交流機能】

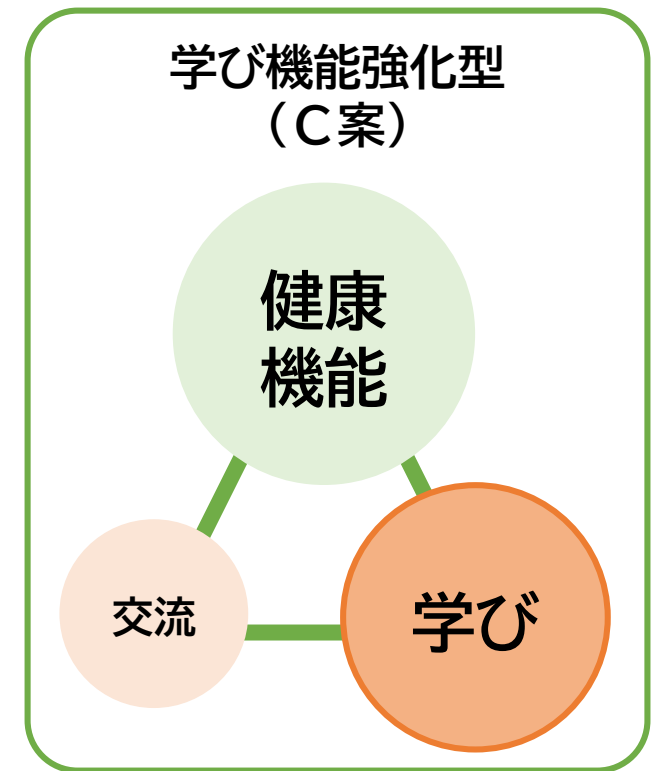
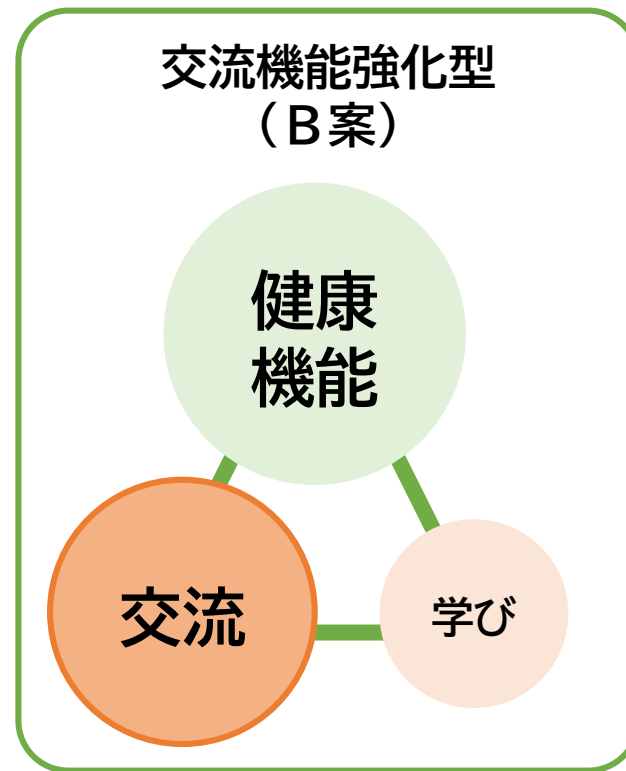
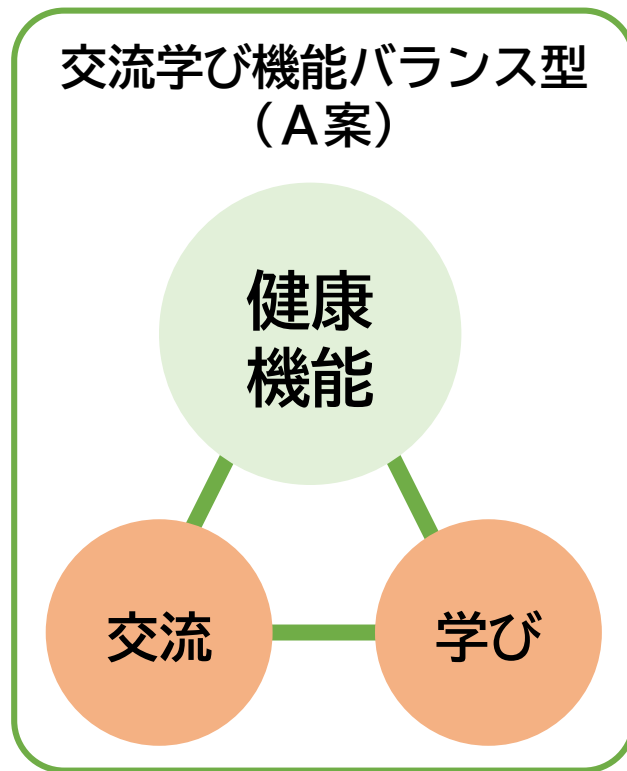
1. 多目的室
2. 畳スペース
3. セルフカフェ
4. キッズスペース
5. 休憩ラウンジ
6. 軽運動スペース

【学び機能】

1. 自習室(wifi整備)
2. 会議室
3. 講義室
4. 音楽室
5. キッチンスタジオ
6. 情報コーナー

● 第2回ワークショップ

▼ 機能タイプの提案



● 第2回ワークショップ

▼ 各機能タイプ案に対する意見の整理

	A案 (バランス型)	B案 (交流機能強化型)	C案 (学び機能強化型)
選択者数	14人	8人	0人
交流機能 (選択者数)	3. セルフカフェ (6) 5. 休憩ラウンジ (6) 6. 軽運動スペース (6) 1. 多目的室 (5) 4. キッズコーナー (3)	6. 軽運動スペース (5) 1. 多目的室 (4) 3. セルフカフェ (4) 5. 休憩ラウンジ (4) 4. キッズコーナー (3) 2. 畳スペース (1)	【交流機能】 6. 軽運動スペース (11) 3. セルフカフェ (10) 5. 休憩ラウンジ (10) 1. 多目的室 (9)
学び機能 (選択者数)	5. キッチンスタジオ (9) 1. 自習室 (6) 3. 講義室 (5) 4. 音楽室 (3) 6. 情報コーナー (3)	1. 自習室 (5) 2. 会議室 (1) 4. 音楽室 (1)	【学び機能】 1. 自習室 (11) 5. キッチンスタジオ (9) 3. 講義室 (5) 4. 音楽室 (4)

● 第2回ワークショップ

▼ 交流機能の主な選択理由（選択数が多い順）

① 6. 軽運動スペース	<ul style="list-style-type: none">・ 軽い運動を通じて交流ができる、運動が苦手な人も利用できる・ 年代に関係なく利用できる
② 3. セルフカフェ	<ul style="list-style-type: none">・ 若い世代の利用が多くなる、様々な人が訪れることができる・ 運動や温泉の後に一息入れることができる
③ 5. 休憩ラウンジ	<ul style="list-style-type: none">・ 運動や温泉の後にリラックスができる、長く滞在することができる・ 様々な人と交流できる

▼ 学び機能の主な選択理由（選択数が多い順）

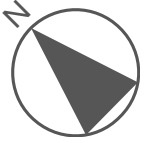
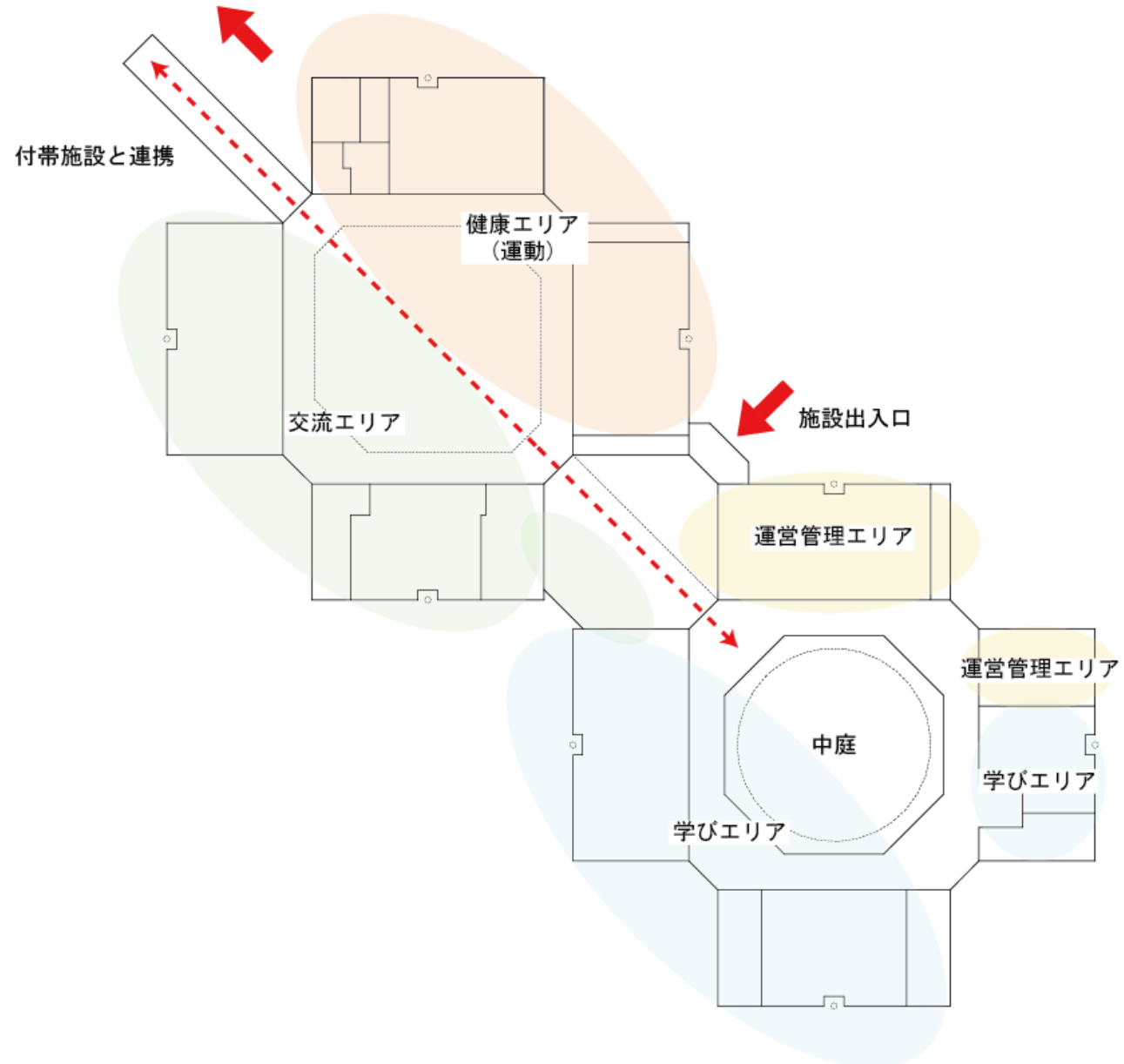
① 1. 自習室	<ul style="list-style-type: none">・ 生徒、学生が集まりやすくなる、若い世代が利用しやすくなる・ 友達と勉強したい、図書館以外に勉強できる場所があったほうがいい
② 5. キッチンスタジオ	<ul style="list-style-type: none">・ 食育を中心とした料理指導ができる、料理教室ができる・ 交流しながら料理を学ぶことができる
③ 3. 講義室	<ul style="list-style-type: none">・ ボランティアや様々な勉強会が実施できる・ ボランティアグループが活動計画などを話し合える部屋が欲しい

(3) 未来推進会議について

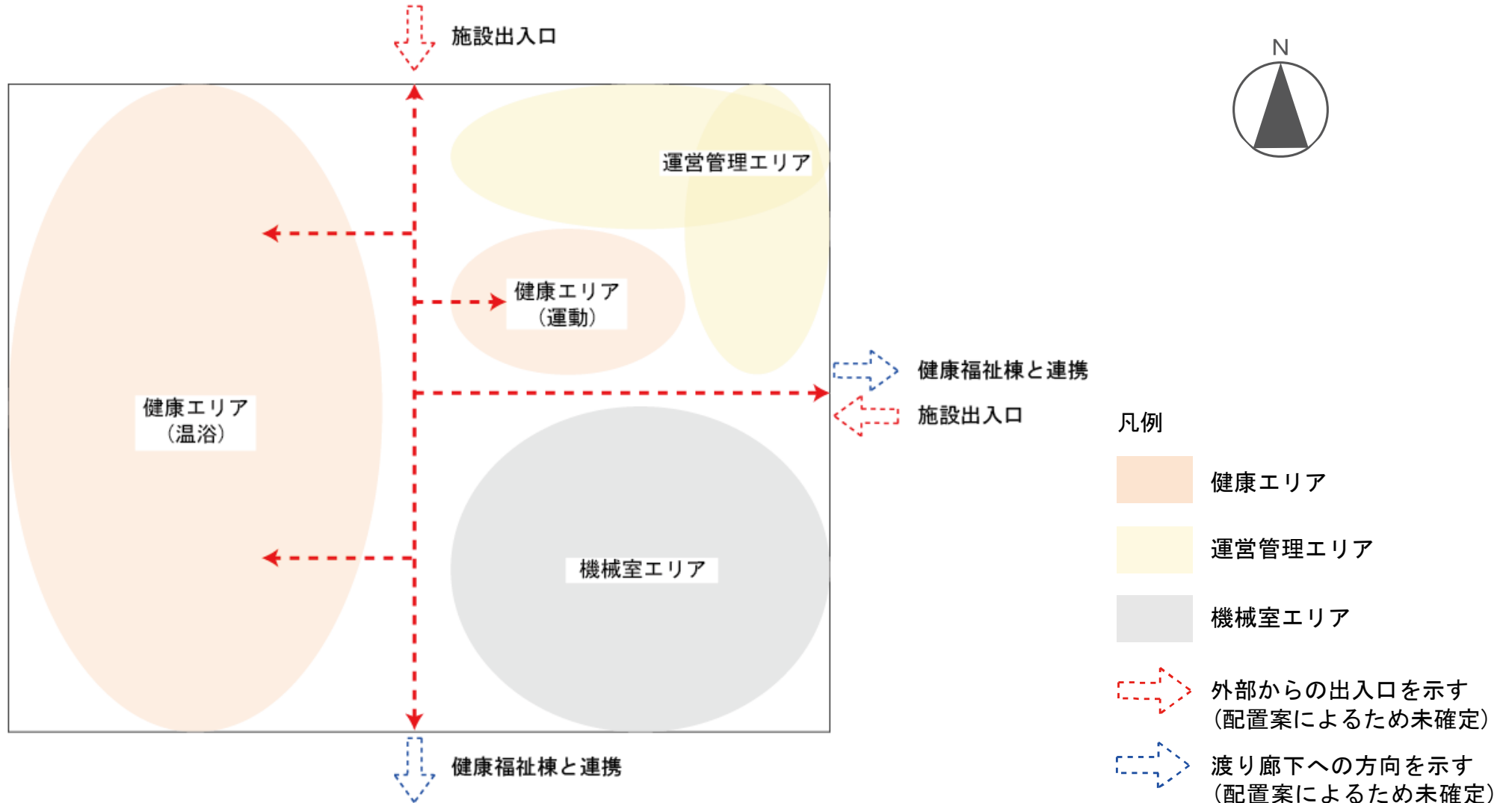
● ワークショップでの意見を踏まえた機能配置案 (健康福祉棟)

凡例

- 健康エリア
- 交流エリア
- 学びエリア
- 運営管理エリア



● ワークショップでの意見を踏まえた機能配置案（附帯施設）



(3) 未来推進会議について

● 附帯施設配置案

検討項目	建築	内部導線 外部アプローチ 施設間の一体利用 既存施設との関係 運営・維持管理 営業継続への配慮
	構造	地盤条件 基礎条件
	設備	設備効率 メンテナンス性 配管ルート 周辺インフラとの関係
	施工	施工性 仮設計画 工期 工事費

案1	案2	案3 ※現在別途調査中
現アクアス位置に建設	西側町有地に建設	現アクアス（継続利用）

		案1	案2	案3 ※現在別途調査中
配置案詳細		現アクアス位置に建設	西側町有地に建設	現アクアス(継続利用)
配置図				
	検討項目			
建築	内部動線			
	外部アプローチ			
	施設間の一体利用			
	既存施設との関係			
	運営・維持管理			
構造	営業継続への配慮			
	地盤条件			
	基礎条件			
	設備効率			
設備	メンテナンス性			
	配管ルート			
	周辺インフラとの関係			
	施工性			
施工	仮設計画			
	工期			
	工事費			

全世代型健康増進拠点施設整備に関する問合せ先

大木町役場 健康課（担当：荒尾・中尾）

- ・ 電 話 0944-32-1280（直通）
- ・ F A X 0944-32-1054
- ・ メール kenkofc@town.ooki.lg.jp

全世代型健康増進拠点の構築に関する情報を町ホームページに掲載しています。

アクセスは
こちらから ▶

